

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	キッズサポートセンターさかい運営事業	シート番号	014-028
担当部署名	子ども青少年 局 子ども青少年育成 部 子ども育成 課	評価責任者(課長名)	橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	社会全体で子どもをはぐくむ仕組みづくり	有
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	児童福祉法第6条の3第6項・同法第21条の9・同法施行規則第1条の7			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	平成25年11月7日、堺市・株式会社高島屋・株式会社ポーネルド・厚生労働省大阪労働局(堺マザーズハローワーク)の4者で、連携して子育てを支援するための基本協定書を締結。平成26年4月25日、同協定に基づく堺市・高島屋・ポーネルドの3者共同事業として、キッズサポートセンターさかいを開設。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	12歳以下の子どもとその保護者等				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	子どもとその保護者等が『遊び』を出発点に集い、交流し、気軽に相談できる子育て支援の場を提供することにより、子育ての孤立化を 방지、子育てに関する不安感や負担感を軽減するとともに、幅広い層の市民が利用しやすく親しまれる子育て支援の場とすることにより、まちの賑わいづくりに資すること。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	キッズサポートセンターさかいにおいて、堺市・高島屋・ポーネルドが共同で、以下の事業を実施する。 (1)子どもとその保護者等の集い・憩い・交流の場の提供 (2)保護者等の子育てに関する相談 (3)絵本コーナーの提供・読み聞かせイベント等の実施 (4)発達障害児支援プログラム (5)子育て講習会・父親の育児支援・ワークショップ等の実施 (6)親子の室内遊び場の提供(ポーネルドが事業主体) (7)イベントスペースの運営(高島屋が事業主体) (8)堺マザーズハローワークとの連携 (9)その他 ※(1)～(5)は堺市が事業主体(「堺市つどい・交流のひろば」) <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	民間法人、国立大学法人					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	61,012	60,584	61,412	60,974	55,583	56,341	82,810	
主な事業費内訳	管理運営委託料・事業補助金	千円	40,068	40,059	40,068	40,059	31,250	30,981	29,125
	施設床賃借料	千円	20,289	20,289	20,289	20,289	20,477	20,477	21,998
	その他	千円	655	236	1,055	626	3,856	4,883	31,687
	財源内訳	千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	5,544	19,576	19,576	19,660	19,920	17,406	18,834
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
その他(財産貸付収入)	千円	290	290	290	580	290	250	290	
一般財源	千円	55,178	40,718	41,546	40,734	35,373	38,685	63,686	
12 人件費 (b)	千円	985	1,560	1,560	5,495	6,410	5,430	8,365	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	61,997	62,144	62,972	66,469	61,993	61,771	91,175	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	キッズサポートセンターさかい運営事業	シート番号	014-028
-------	--------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	<p>14 利用者のリピーター率は80%を超え年々増加傾向であるとともに、「堺市つどい・交流のひろば」利用者アンケートの結果では、97%程度の方が施設やスタッフについて「満足」又は「どちらかと言えば満足」と回答している。利用者アンケートによる満足度が高く、リピーター率も高いことから、利用者からは高い評価を得ているものと推測され、利用しやすく親しまれる子育て支援施設となっているものと考えられる。</p> <p>令和元年度は、キッズサポートセンターの認知度向上のため、中区と東区で出張あそび場を開催し、大型遊具や親子の交流を体験する機会を設けた。また、市内を運行する南海バスの一部車両内に広告を掲載したり、子育て関連イベントで事業周知を行うなど積極的な周知を実施したが、2月、3月は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設の休館やイベントが中止となったため、利用実績は目標値に達成できなかった。</p>							
	指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	年間のべ利用者数 (堺市つどい・交流のひろば)	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績値	58,005	56,511	47,385	
				達成率	116%	113%	95%	
				評価	良い	良い	普通	
	算出方法・設定根拠など		他都市における同種の施設の利用実績を参照					
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	利用者の満足度 (堺市つどい・交流のひろば)	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	97	97	97	
				達成率	97%	97%	97%	
				評価	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		利用者アンケートより					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	年間のべ利用者数	人	58,005	56,511	47,385
	②	上記①にかかる年間経費	千円	62,144	66,469	61,771
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,071	1,176	1,304
	備考(算出についての説明等)		他都市における同種の施設の利用実績を参照			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	<p>前年度に引き続き、子育て応援アプリやバス車内広告などを活用した周知を行うとともに、堺区子育て支援課による区内子育て支援情報チラシへの記事掲載や定期的なひろば訪問、出張あそび場の実施等を行ったが、令和元年度の2月、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントが中止となったり、施設も休館となったため前年度に比べて利用者が減少した。</p>

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	キッズサポートセンターさかい運営事業	シート番号	014-028
-------	--------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コ ロ ナ 禍 を 踏 ま え た 点 検 (必 要 性 ・ 有 効 性 ・ 効 率 性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できる <input type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 令和2年度で本事業終了	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 令和2年度中 令和3年度 令和4年度以降	休止の場合の再開時期
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 令和2年度で本事業終了			